

施策評価調書〔途中評価(平成30年度実施)〕

長崎県総合計画における位置付け

将 来 像	次代を担う『人財』豊かな長崎県	作 成 年 月 日	平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	72	P
基 本 戦 略 名	5 次代を担う子どもを育む	施 策 主 管 所 属	教育庁高校教育課			
施 策 名	(6) 子どもたちが安心して学べる教育環境の整備	課 (室) 長 名	課長 林田 和喜			
		施 策 関 係 所 属 (部 局 名 課 名)	総務部学事振興課、教育庁教育環境整備課			

1 施策の内容

<p>【取組の概要】</p> <p>生徒指導体制や教育相談体制の一層の整備・充実等を図るとともに、子どもたちが安心して学べる環境の整備など、信頼される学校づくりに取り組みます。</p>	<p>【めざす姿】</p> <p>地域の絆を深める地域教育力・家庭教育力が向上し、子どもの居場所や健やかに育つ環境が整っている。</p>
--	--

2 施策の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価																						
□ A : 順調 ■ B : やや遅れている □ C : 遅れている																						
<p><<これまでの成果>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒対象・教職員対象の防犯訓練を実施した割合は、市町教育委員会等へ働きかけを行った結果、平成28年度の85.2%から平成29年度88.2%と3.0ポイント上昇している。 ●定期的を実施する点検等に基づき、県立学校の老朽化した施設の改築や大規模改修を計画的に進めるとともに、維持・補修を随時実施することで、保全不備による事故の件数は0件を維持している。 ●耐震化未実施の学校法人に対して働きかけを行い、学校法人による補強・改築工事等の実施により、私立学校（小・中・高等学校）の耐震化率が平成28年度末の79.1%から平成29年度末は83.8%と4.7ポイント上昇した。 <p><<進捗状況に課題がみられる分野>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「『経済的・家庭の事情』による中途退学者の割合」については、国や県の補助制度により授業料やその他の教育にかかる経費の負担軽減を図っているものの、平成29年度時点で目標値を2.1ポイント下回っている。 ●「私立学校（小・中・高等学校）耐震化率」については、設置者である学校法人の負担が大きいことなどが影響し、目標値を達成できなかった。 	<p>関係機関や地域の団体、PTA等と連携して、登下校時の見守り活動をしている学校の割合</p> <table border="1"> <caption>関係機関や地域の団体、PTA等と連携して、登下校時の見守り活動をしている学校の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (基準年)</td> <td>100.0</td> <td>95.2</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100.0</td> <td>99.2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100.0</td> <td>99.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	H25 (基準年)	100.0	95.2	H28	100.0	99.2	H29	100.0	99.6	H30	100.0	100.0	H31	100.0	100.0	H32	100.0	100.0
年度	目標値	実績値																				
H25 (基準年)	100.0	95.2																				
H28	100.0	99.2																				
H29	100.0	99.6																				
H30	100.0	100.0																				
H31	100.0	100.0																				
H32	100.0	100.0																				

3 施策の成果指標の進捗状況

指 標	目 標 値	基 準 年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
								100%維持 (H32年度)	
関係機関や地域の団体、PTA等と連携して、登下校時の見守り活動をしている学校の割合	①		100.0%	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持 (H32年度)	着実な向上が見られる。今後も見守り活動の重要性を周知し、目標達成を目指す。
	②	95.2% (H25年度)	99.2%	99.6%				進捗状況	
	②/①		99%	99%				やや遅れ	

4 新たな課題や社会情勢の変化等

●近年、登下校時に児童生徒が交通事故や自然災害、犯罪に巻き込まれる事件も発生しており、各学校における危機管理体制の一層の充実を図ることが求められている。

●家庭の経済的事項による教育格差の解消の必要性が指摘される中、授業料などの教育にかかる経費負担を軽減し、経済的理由による修学の機会が失われないよう、子どもたちが安心して学ぶための取組が求められている。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

●「開かれた学校づくり」を推進し、保護者、地域住民に対して学校運営への積極的な参加を促すなど、双方の連携協力関係づくりに努め、子どもの安全を守る体制づくりを確立する。

●修学支援の充実については、引き続き、授業料や授業料以外の教育にかかる経済的負担の軽減のための各種事業を継続し、子どもたちが安心して学べる環境の整備を推進していく。

6 施策を推進する事業群の状況

事業群①「子どもの安全確保対策の推進」	事業群評価調書 5-(6)-① 参照
事業群②「安全で快適な学校施設の整備」	事業群評価調書 5-(6)-② 参照
事業群③「子どもたちが安心して学ぶことができる修学支援の充実」	事業群評価調書 5-(6)-③ 参照
事業群④「私立学校の耐震化の推進」	事業群評価調書 5-(6)-④ 参照